若疑シク覚候ハバ
我等ノ所業終候処ヲ
爾等眼ヲ開テ看ヨ

3月5日
半月刊
第4号
購読料 1部 30円
半年分 600円（〒共）
1年分1,200円（〒共）

叛旗
共産主義者同盟

発行人 川崎文人
編集人 仲代真理
発行所 東京都新宿区
百人町2—197
東京パレエ劇場ビル2F
大久保プロ気付
共産主義者同盟
「叛旗」編集委員会
TEL 03—363—5809
振替 東京 162856

連日三里塚へ結集せよ

詳細連絡先 大久保プロ

三里塚へ!!! 総力戦へ

強制収用を実力で粉砕せよ！

全国の同志諸君！
叛旗読者諸君！
四年七月余の！ 安配階級・権力の野望は一体何であるのか。

それが我々庶民の犠牲の上に成り立っている。

学費闘争を媒介に

70年代権力闘争の烽火を上げよ（下）

南部地区反帝戦線明学大班

承前

①前号において、明治百年―戦後二十五年の総括、全共闘運動十一月闘争敗北を経験した我々の位置と、学費値上げの現在的意義を、国家―市民社会―機動隊の中で明らかにした。次の我々は六八年六九年全国学生闘争―全共闘運動の総括を通じて、何が敗北し、何を次の闘いに受け継ぐべきかを見てゆきたい。

四、全共闘運動の総括

（イ）何を問うべきか！

六八年、六九年のあの全学的大闘争の過程で学内と国家、日共＝民青と全共闘を区別しつつ、学費値上げ反対闘争を展開しつつ、十一月闘争で我が埼玉大学同じ状態に陥ったのは、昨年月13日において我々は日共傾斜学生の背信行為を真剣に受けとめ、それなりの後、学生部をとりつくろうとも、我々埼玉大班学生部は、我々の主体と意識のもつ風潮・古臭さを感じ闘争して来ました。それなりの内容は、それなりの行為の中で、われわれ一人一人が、権力による学生に対し、